



コンバットチョコQがソーシャルゲームに登場！

Qタンクを集めてフルQ帝国をやっつけろ！

GREE で 4/28 (木) より配信中！

『コンバットチョコQ for GREE』は、株式会社タカラトミーの人気キャラクターである「チョコQ」(<http://www.takaratomy.co.jp/products/choroq/>)を使ったソーシャルゲームです。グリー株式会社（代表取締役社長 田中良和/本社：東京都港区）が運営する「GREE」で 2011 年 4 月 28 日(木)から遊べるようになっているので、ご存知の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

このソーシャルゲームは、株式会社タカラトミーエンタメディア（代表取締役社長：上村高広/本社：東京都中央区）と有限会社サンアート（代表取締役：大野達也/本社：京都府京都市）の共同企画によって生まれました。それでは、どのようにしてこのゲームが生まれ、遊べるまでになったのか、私、有限会社サンアート代表取締役の大野達也が、開発秘話を少しだけお話ししましょう。



著者プロフィール：大野 達也（おおの たつや）@sunart_oono

有限会社サンアート代表取締役。京都のゲーム屋さん。関西から盛り上げる「GIPWest」という関西デベロッパの founder。iPhone、iPad、Android や facebook、mobage、GREE のソーシャルアプリを企画開発、運営してます。元はコンシューマゲームのデザイナーでした！！

ある日の出会いからはじまった！

<タカラトミーエンタメディア社 上村・安中・妹尾氏編>

2010 年 8 月 18 日 (水) 昼、うち (有限会社サンアート) にタカラトミー社のメチャメチャ偉い方々が来社されました。わざわざ京都までお越しになったので、ちょっとドキドキです。この席で、タカラトミーエンタメディアの上村さんを紹介頂きました。少し時間をおいて、2010 年 9 月 9 日 (木) に銀座に伺うことになりました。「銀座…なんか高そう！」。これが第一に私が思ったことです。

上村さんと安中さんが快く迎えて頂き、何気ない会話をさせて頂きました。「おもちゃ大好きなんですよ！私」。次に伺った時には、お土産まで頂き、もう一気にファンに（映画 SAW のチョコQ 限定品！）。

「なんかしまししょう！」ということで、商品カタログを拝見させて頂き、いくつかの 1 枚企画を作成しました。こちらを持って再度訪問させて頂いた時、妹尾さんともお顔合わせさせて頂きました。企画内容をディスカッションさせて頂き、ある程度方向性が決まったところで「あとは、座組みですな」という展開に。そして・・・

<マイクロソフト社 石坂・砂金・増淵氏編>

2010 年 11 月 26 日(金)夜、GIPWest 主催「第 8 回関西デベロッパー交流会」がしめやかに行われていました。GIPWest (Game Innovators Portal West) とは、関西に拠点のあるゲーム開発会社による任意団体です(私もメンバーとして参加しています!)。「関西のゲームづくりを一緒に盛り上げよう!」と活動している訳ですが、ここでゲストとしていらしていたのがマイクロソフトさんでした。「cloud」「Windows Azure」「Kinect」について講演頂いていたのですが、一際異彩を放つプレゼンターが石坂さんでした。「まあ、楽しい!」この一言につきました。

(その時のプレゼン資料: http://gipwest.com/news/slide_gipw08_01/)

講演後、早速お話す機会を頂き、うちの現在の取り組みをお話しました。ソーシャルゲームに力を入れていること、関西で No1.SAP (Social Application Provider) を目指していること、IP (Intellectual Property : 知的財産) を使用したアプリ開発を行っていること、etc...。5~10 分程度の短い時間でしたが、ざっと話し、新宿の本社(当時)で改めて会う機会を頂きました。3 時間程お時間を頂き(長すぎましたね)、「取り組んでいるソーシャルゲームを「Azure」にしませんか?」と持ち掛けさせて頂きました。澤さん(エライ方)と対面の場を作って頂き、その後、砂金さん、増淵さんともお会いしました。そして・・・

怒涛のキックオフミーティング!!

2011 年 1 月 13 日(木) 夕方、タカラトミーエンタメディア社で、「コンバットチョロ Q」キックオフミーティングが開催されました。いいだしっぺの私が、司会進行です。タカラトミーエンタメディアさん、マイクロソフトさん、協力会社さん、京都・大阪・東京の方々 10 名前後を一堂に会し、45 分程度の本アプリの目的共有に臨みました。皆さんのスキルだけではなく、人となりを知ることが重要で、お一人毎に簡単なお話を頂きました。このあたり、小学校の自己紹介を参考にしています。はい。

開発 3 カ月! 運営 3 カ月! 計 6 か月間で結果を出す!! 我々は優れたコンテンツを開発するだけでなく、「遊び」をより多くの方に提供するエンタテインメントであるべきだ。

こうして、プロジェクトはスタートしました。

開発・開発・開発!!そして、リリース。ここからが勝負!!!

IP を生かし (タカラトミーエンタメディア社)

Azure の普及に努め (マイクロソフト社)

企画開発力を高める (サンアート社)

それぞれの責任を持って、各社がそれぞれに実務にあたりました。

> タカラトミーエンタメディア社 安中さん、妹尾さん、**武田さん**(若手リーダー。将来のエンタメ王子)

「企画合宿参加よろしく!」「京都でやりますが、絶対必要です」

> マイクロソフト社 石坂さん、砂金さん、増淵さん

「Azure 技術サポートよろしく!」「サーバー見積キモですので、Skype MTG 頼みます」

> サンアート社 **中塚**(マネージャー。完全無敵のロッカー)、**小野**(制作 1 班リーダー。東方不敗のおちゃめ女子)、**村中**(総務課キレモノ。元 SE)

「皆さんの期待を完全に上回れ!」「全力をもって任務にあたるように!」

α、β、allin レビュー、負荷テスト、GREE さん審査と進行し、プレスリリース、運営準備、版元確認が済みました。あとは、お客様のご意見・問題点をユーザーサポートで、動向を KPI（Key Performance Indicator）から得て、日々の運営 MTG で状況報告と仮説に基づいた PDCA サイクルを細かく細かく回していくこと。もちろん日進月歩な他アプリの研究を怠らず、良いところをどう取り込んでいくかを考えています。

ようやく産声をあげた、アプリ。皆さんよろしくお願いいたします。

<ゲーム概要>

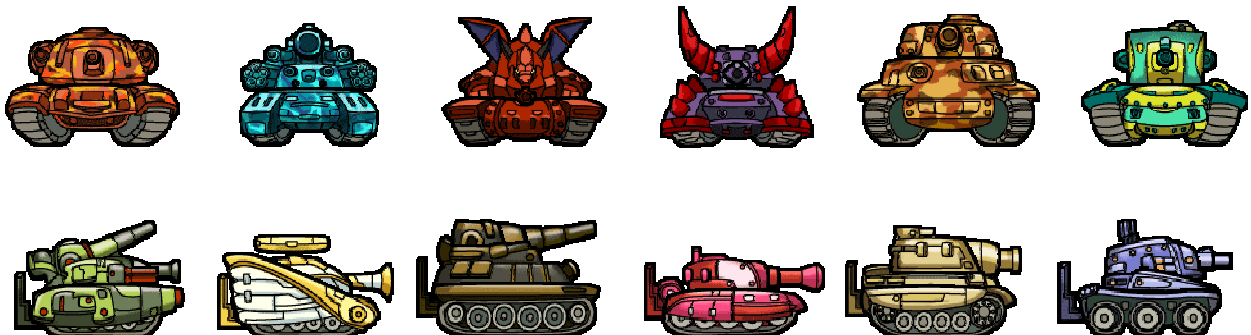
【1】 チョロQ王国の平和を守れ！

プレイヤーはチョロQ王国解放軍となり、王国各地に侵攻するワルQ帝国とバトルを行います。ゲーム内では戦車型チョロQ「Qタンク」と共にワルQ帝国へ挑みます。たくさんのQタンクを集め、育てて最強部隊を作りあげ、チョロQ王国の平和を守りましょう。ゲーム内のミニゲームではブルバックやウイリーといったチョロQらしさも盛り込み、従来のチョロQファンも楽しめる内容になっています。友達との協力プレイや期間限定イベントなど、ゲームを盛り上げる要素も次々に投入していく予定です。



【2】 数百種類の個性的なQタンクを集めよう！

バトルやミッションを行うことで入手可能なQタンクの部品「Qパーツ」を元にQタンクを開発することができ、より強力なQタンクが使用可能となります。外見も個性的なQタンクは数百種類以上で、サービススタート後も次々に追加されていく予定です。中には期間限定イベントでしか手に入らないレアなQタンクもあり、コレクションを楽しむことができます。



※Qタンクのイメージは変更になる場合があります。上記Qタンクはサービススタート時に未配信の場合があります。

【3】 迫力のミッションを楽しもう！

ミッションではフルQ帝国を倒しながら進軍していきます。ミッションを進めるとフルQ帝国部隊とのバトルが発生し、Qタンクをブルバックさせたり、コイン・ホルダーにコインをはめるミニゲームに成功すると一気に進軍することができます。進軍を進めると各地の拠点でボス部隊とのバトルが待っています。ボスバトルでは友だちと協力しながら、手強いボス部隊と戦います。チョロQ王国の平和を取り戻すため、ボス部隊をやっつけて王国各地をフルQ帝国の支配から解放していきましょう。

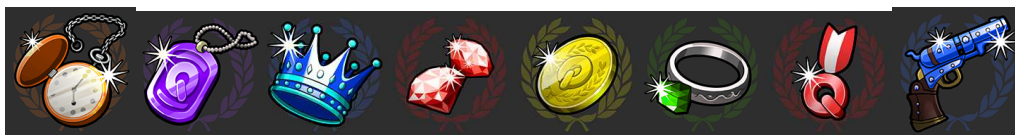


【4】 フルQ帝国をやっつけてトレジャーをコレクションしよう！

フルQ帝国の侵攻を阻止し、ミニゲームのバトルに勝利することで、トレジャーを獲得することができます。トレジャーはユーザー間同士のバトルでも獲得することができ、Qタンクと併せてコレクションして楽しむことができます。



チョロQ王国の平和を守ろう！！※マップのイメージは変更になる場合があります。



フルQ帝国をやっつけてトレジャーを獲得だ！！※トレジャーのイメージは変更になる場合があります。

【サービス概要】

コンテンツ名称	「コンバットチョロQ for GREE」
料金体系	基本プレイ無料、アイテム課金制
配信開始日	2011 年 4 月 28 日(木)
URL	http://mgaget.gree.jp/1759/
利用方法	「GREE」への無料会員登録後、利用可
権利表記	© TOMY © T-EM © SunArt

【お問い合わせ先】

株式会社タカトミーエンタメディア

デジタルメディア事業本部 デジタルコンテンツ事業部

担当：武田 優人

〒104-0061 東京都中央区銀座 1-19-7 銀座一丁目イーストビル 2F

■TEL.03-3561-6481 ■FAX.03-3561-6491 ■E-Mail press@t-entamedia.com

有限会社サンアート

制作局 1 班

担当：小野 美幸

〒600-8429 京都府京都市下京区万寿寺通烏丸西入御供石町 368 番地 北阪ビル 7 階

■TEL.075-342-1575 ■FAX.075-342-1576 ■E-Mail press@sunart.gr.jp

電子書籍クラウド「J!BOOK」、 PDF を登録するだけで簡単自動公開

「J!BOOK」は、クラウドを活用した、読者参加型の電子書籍です。PDF ファイルから電子書籍コンテンツを自動作成してクラウド上で公開できます。このため、特別な知識は必要ありません。誰でも簡単に電子書籍を作れるのです。

さらに、クラウド上に作成した電子書籍のコンテンツは、iPad や iPhone/Android、PC など、様々な端末で検索、閲覧、編集できます。Facebook と連携する機能も持っており、Facebook 上で電子書籍を公開したり、コメントを付けたりできます。

また、商業出版など、BtoB ビジネスのコンテンツ活用でも使えるよう、目線分析などの、いろいろな機能を揃えています。

名前の J!BOOK には、Join the BOOK! (この本に集まれ!) という意味があります。日本発のドキュメント・クラウド・システムとして、2011年7月から世界中にリリースしていきます。これを読んでいる皆さんも、ぜひ使ってみてください。

■ 電子書籍をもっと身近に、簡単に

J!BOOK は、電子書籍を身近で簡単なものにするために開発したアプリケーションです。特別な知識を必要とせずに、電子書籍を簡単に作れます。電子書籍の知識が要らないだけでなく、PC の知識も必要ありません。手元にある PC で作ったコンテンツをクラウド (Windows Azure) にアップロードするだけで、電子書籍を配信できてしまいます。

1 回の作業で、すべての端末向けに配信できます。PC の Web ブラウザーのほか、iPad などのタブレット端末や、iPhone、Android、Windows Phone 7 などのスマートフォンから閲覧できます。端末ごとに別々のコンテンツを用意する必要がありません。



(電子書籍を公開するまでの流れ)

J!BOOK が登場するまでは、電子書籍には数々の課題がありました。例えば、スマートフォン (iPhone/iPad) で Flash コンテンツを閲覧できないなど、スマートフォンの種類によって閲覧できないものがあるという課題や、携帯電話データ通信の第 3 世代 (3G) では帯域が狭くて表示が遅すぎるという課題がありました。

J!BOOK では、こうした課題を解決できます。Microsoft の Flash 相当技術である Silverlight の技術 (Deep Zoom) を

用いることで、データ転送量を最小限にすることができます。こうした工夫により、高速プレビュー技術では、他社の電子書籍リーダーと比べて 5 倍以上の表示速度を実現しています。

■クラウド上でコンテンツを探せる、編集もできる

電子書籍は、作って公開するだけで終わりというわけではありません。見るだけの電子書籍は、ビジネスでは使いませんが、J!BOOK は違います。クラウド上のソーシャルアプリケーションならではの使い方ができます。

例えば、大量のカタログから自分の欲しい情報だけを見つけるのは、時間も手間もかかります。また、欲しいページだけを 1 つにまとめることも、簡単にはできません。J!BOOK を使うと、こうした使い方が簡単にできます。

まず、ピンポイントで文字を検索できます。Windows Azure 上のフォルダ(キャビネット)に登録されたすべての BOOK を、ページ単位で文字検索できます。こうして、探したいドキュメントを、ピンポイントで検索できます。

さらに、欲しいページを編集して取り出すことができます。欲しいページだけをカゴに入れて、自分だけの 1 冊の PDF にまとめることができます。ページの並び替えも簡単にできるほか、誰が閲覧できるかなどのセキュリティの設定も可能です。

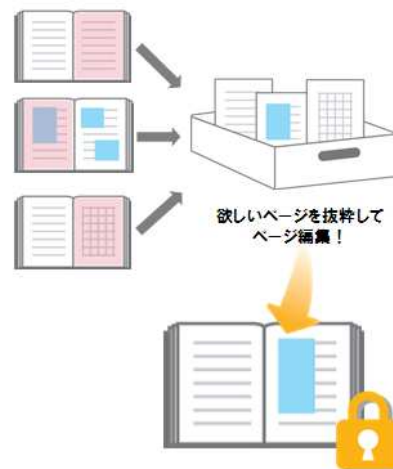
● ピンポイントで文字検索

キャビネットに登録された全てのBOOKを、ページ単位で文字検索。探したいドキュメントをピンポイントで検索できます。



● 欲しいページを編集して取り出せる

欲しいページをかごに入れて、1冊のPDFにまとめられます。ページの並び替えや、セキュリティの設定も可能です。



(サイト内を全文検索できる(左)ほか、好きなページを1つのPDFにまとめられる(右))

■Facebookで広がるコミュニケーション

Facebook と連携する機能も備えています。例えば、J!BOOK に電子書籍のドキュメントを登録すると、自動的に Facebook 上で電子書籍を公開できます。また、Facebook 上で、電子書籍のドキュメントにコメントやマーカを追加できます。友達が付けたコメントを見てコメントに返信することもできます。

典型的な利用シーンは、商品カタログです。気になる商品にコメントを書き込んで、友達に送ることができます。手書き文字を書き込めるほか、スマートフォンからは音声や写真を添付することも可能で

す。コメントのやり取りは、履歴として残せます。こんな風に、電子書籍をコミュニケーション・ツールとして利用できます。



(電子書籍を使って Facebook 上でコミュニケーションがとれる)

■ マーケティングにも使えるログ分析機能

J!BOOK は、商業出版の用途向けに、読者の目線を追う分析など、さまざまなマーケティング機能も備えています。コンテンツの閲覧箇所を分析できるヒートマップ分析や、読者の目線を追えるアイトラック分析などが可能です。



(ログ分析の画面)

実際に、J!BOOK を商業出版に活用している事例は多数あります。そのうちの一例が、株式会社モーターマガジン社が出版しているカーナビゲーション専門誌『カーナビ Labo』です。実際に見てみてください。

- ・カーナビ Labo のアプリ案内ページ <http://www.carnavi-labo.net/ebook/index.html>
- ・カーナビ Labo vol.33 Flash ブック <http://www.carnavi-labo.net/emag/vol33.htm>